

診療連携会報

岡村だより

8月号

令和3年8月発行

Contents

理事長就任のご挨拶

理事長 坂本 泰三

院長就任のご挨拶

院長 榎本 栄

岡村記念病院は TAVIを始めます その1

岡村ハートチーム 心臓血管外科部長 三和 千里

理事長就任のご挨拶

理事長 坂本 泰三



暑い日々が続いています。日中 35 度を超える猛暑だけでなく、オリンピックの躍動する熱、そしてコロナによるパンデミックの熱と暑いことばかりです。夏が去り、オリンピックは終わっても医療従事者にはコロナパンデミックの熱い日々が果てしなく続くことと思います。

さて、19 年間務めました岡村記念病院 院長職をこの 4 月に辞し、理事長職に専念することにいたしました。在任中、皆様より多くのご指導やご助言をいただき、ここまで施設になされましたことに深く感謝いたしております。

院長職を辞しましたが、当院の理念は、変わ

ることなく「循環器専門病院として地域の皆様に高度先進医療を提供し、健康な生活を提供する」ことです。現院長の榎本もこの理念のもとに皆様とともに地域医療に貢献していく覚悟でありますので、よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に、コロナの拡散拡大で医療従事者には今後大きな負荷がかかってくると思います。重ね重ねご自愛ください。長い間、ご支援いただきありがとうございました。これからも岡村記念病院をよろしくお願い致します。

院長就任のご挨拶

院長 榎本 栄



残暑お見舞い申し上げます。

コロナ禍は第 5 波に入り感染拡大が止まらない状態です。五輪も強行され、静岡県内の会場は大会関係者以外に観客も集中する予定で、今後の医療供給体制への影響も懸念されます。

ただ幸い当院では入院前の PCR 全例検査や、面会者の病棟への入室禁止が有効に働き、現在まで入院治療に影響はでおりません。当院ではコロナ感染患者に対する治療はできないため、その代償として近隣でのワクチン接種業務に医師、看護師、事務職員のチームを積極的に派遣しております。ワクチン効果で重症化率や死亡者数は確実に減ってきておりますので、引き続き感染防止に対する皆さまのご協力をお願

い致します。

人口の高齢化に伴い、心臓、血管、不整脈に関する病気は増加しております。この治療の侵襲を減らすためカテーテルによる治療が急増しておりますが、弁膜症治療に関して当院ではまだ侵襲が大きい開胸手術しか選択肢がありません。当院でカテーテルを使った弁膜症治療を行うため、8 月中旬から 9 月までの 1 ヶ月半に渡って、現在の手術室をカテーテル治療も行える『ハイブリッド手術室』に改修する工事を行う予定です。これが完成して治療に関する認可が得られれば、高齢者でもっとも多い大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術という開胸手術を TAVI(タビ)(transcatheter aortic valve

implantation) と呼ばれるカテーテル治療に切り替えることができ、現在体力的に手術が受けられない患者さんに対しても治療が可能になります。

TAVI は静岡県東部ではまだ出来る施設がなく、待望されております。また僧帽弁閉鎖不全症という弁膜症に対しても開胸手術ではなく、カテーテルで行える Mitra clip(僧帽弁クリップ) という治療法があり、ハイブリッド手術室があると低侵襲治療の選択肢が増えます。

ただ手術室の改修工事期間中は通常の手術治療ができなくなりますので、この期間中の手術休止に対する皆さまの御理解、御協力をよろし

くお願い致します。

4 月に坂本前院長から病院長を引き継ぎ 4 ヶ月が経過致しました。コロナを始めとする感染症対策、医療安全に対する対策、地震、水害などの災害対策は喫緊の課題ですので、絶えずチェックしております。さらに毎日の診療や就業に関わる不具合についての討議にできる限り参加して、体制を整える努力を続けていきたいと思っております。

皆様からのご意見、ご指摘にも適切に対応していく所存です。引き続き御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い致します。



岡村ハートチーム
心臓血管外科部長

三和 千里

岡村記念病院は TAVIを始めます その1

岡村記念病院ではいよいよ TAVI 実施に向けて本格的な準備に入り来年の開始を目指しています。そこで今回と次回にわたって TAVI について紹介していきます。

1 TAVI とは

Transcatheter Aortic Valve Implantation (経カテーテル大動脈弁治療) の略です。

大動脈弁狭窄症に対する弁置換術は従来開胸し人工心肺を用いて心停止で行われてきました。大動脈弁置換術の臨床成績は極めて安定していましたが、高齢者やハイリスクの患者さんのなかには従来の方法が難しい患者さんもいます。TAVI は人工心肺を用いずにカテーテルを用いて大動脈弁置換を行う方法で低侵襲なため従来治療困難であった患者さんにも大動脈弁狭窄の治療を行うことが可能です。

2 どのような治療でしょうか

カテーテルにたたんだ人工弁を装着し大動脈弁まで運んで留置します。患者さんの弁は取り除かないと大動脈基部に押し付けられた状態となります。が弁の開閉には問題ありません。4つのアプローチサイトがありますが多くの場合大腿動脈（鼠蹊部）からのアプローチが選択されています。

3 どんな患者さんに TAVI は適しているのでしょうか

TAVI は低侵襲なので高齢者やハイリスクな患者さんには適しています。一方長期成績が示されていないこと、弁周囲逆流が残る場合があること、術後ペースメーカーが必要になる場合があることなどの不利な面もあります。従来の大動脈弁置換術の長期成績は極めて安定しており周術期死亡も少ないとから予後の長い若年の患者さんには従来法がよいとされています。

年齢

開心術

TAVI

- ・虚弱でない
- ・左室流出路に伸びる石灰化
- ・低い冠動脈入口部
- ・僧帽弁逆流 / 僧帽弁狭窄
- ・透析患者
- ・石灰化を伴わない重症大動脈弁狭窄症 等



- ・虚弱
- ・Porcelain Aorta (全周性の大動脈石灰化)
- ・COPD (慢性閉塞性肺疾患)
- ・頸部動脈狭窄
- ・冠動脈バイパス術後
- ・狭小弁輪
- ・胸壁奇形 等

2020弁膜症治療ガイドラインなどより

4 ハートチームで行う治療です

TAVIは新しい治療方式であり従来の循環器内科、心臓血管外科の枠を超えてハートチームで治療を行う必要があります。患者さんの手術適応の決定から実際のTAVI手術、そして術後リハビリから退院まですべてハートチームで行います。

岡村記念病院でも循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医に加えて臨床工学技士、放射線技師、看護師、エコー技師、ソーシャルワーカー、薬剤師、理学療法士、栄養士などがハートチームを形成しオール岡村でTAVI治療に臨んでいきます。

5 岡村記念病院でTAVIを始める理由は

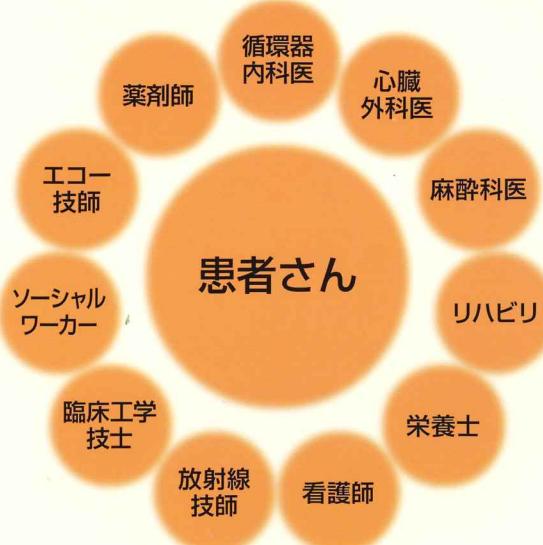
高齢者の重症大動脈弁狭窄症は増加しており心不全の原因の一つとして注目されています。静岡県東部地域においても社会の高齢化が進んでおり、心不全治療は重要な課題の一つとなっています。

2013年より日本で行われるようになったTAVIは徐々にその手術数を伸ばしており大動脈弁狭窄症の重要な治療選択の一つとなってきました。欧米ではTAVIの手術件数は従来の大動脈弁置換術を上回っており日本でも増加して

きています。

しかしながら静岡県東部地域にはTAVIを行える施設がありませんでした。岡村記念病院は地域の皆様に最先端の心臓病治療を提供することを目指しており、TAVIを導入することでさらに幅広い治療を提供できると考えています。

これまで手術ができないと諦めていた患者さんも治療ができる可能性が広がります。是非一度ご紹介いただき、岡村ハートチームで精査、治療の検討をさせていただけますようよろしくお願い致します。



医療法人社団 宏和会

岡村記念病院

〒411-0904 静岡県駿東郡清水町柿田293番地の1
TEL 055-973-3221㈹ FAX】055-973-3404
TEL 055-973-3228 (地域連携室直通)